

地球温暖化対策

対策事項	対策月
石灰焼成炉 ^{※1} の燃料を重油から都市ガスに変更	令和2年6月

可児工場に2基ある石灰焼成炉の内1基について、燃料を噴射する部品を改造し、石灰焼成炉で使用する燃料を、C重油から二酸化炭素の排出係数^{※2}が低い都市ガスに変更して、二酸化炭素排出量を削減しました。

令和2年度に削減した二酸化炭素量は、可児工場全体の約3%に相当します。

※1 石灰焼成炉とは、パルプ製造時に使用する生石灰(CaO)を循環再利用するために、使用後に炭酸カルシウム(CaCO₃)となった石灰を焼成して生石灰(CaO)にする設備です。

※2 二酸化炭素の排出係数

C重油: 3.00tCO₂/t、都市ガス: 2.23tCO₂/1,000Nm³

〔出典〕 環境省 温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度

算定方法及び排出係数一覧 (参考1) 燃料の使用に関する排出係数

臭気対策

対策事項	対策月
苛性化 ^{※3} タンク排気口へ冷却シャワーを増設	令和2年10月

苛性化タンクの排気塔へ冷却シャワーを増設する設備改善を実施しました。

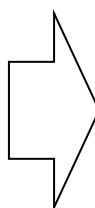
これにより、排出される臭いを含んだ空気を更に冷却して減容させ、また、臭いの成分を水に吸収・分離させることにより、臭いを含んだ空気の排出を削減しました。

※3 苛性化: パルプ製造時に使用する薬品(主成分は苛性ソーダ)を循環再利用するための設備です。

【改善前】



【改善後】



黒液ボイラー※⁴ばいじん※⁵対策

対策事項	対策月
黒液ボイラーを停止して掃除する頻度を年2回から年4回に変更	令和2年4月～

可児工場に2基ある黒液ボイラーについて、運転を停止してボイラー内部や煙突の掃除を行う回数を年2回から年4回に増やし、内部に付着して排出ガスと共に排出されるばいじんの量を低減しました。令和3年度も継続して年4回の掃除を実施します。

《令和2年度の黒液ボイラー停止・掃除の実績》

2号黒液ボイラー	3号黒液ボイラー
6月11日～19日	4月12日～17日
9月14日～15日	7月6日～8日
12月14日～16日	10月2日～14日
3月9日～11日	1月18日～20日

※4 黒液ボイラー: パルプ製造時に発生する廃液(黒液)を燃料としています。

※5 ばいじん: 燃料等の燃焼に伴い発生するもので黒液ボイラーばいじんの主成分は芒硝(硫酸ナトリウム、 Na_2SO_4)です。

芒硝の安全性: 食品添加物や医薬品としても使用されており、ほとんど有害性は無いものと考えられています。

毒物及び劇物取締法の適用は受けていません。

芒硝の用途: 乾燥剤、合成洗剤、入浴剤、食品添加物、医薬用原料、パルプの製造等に幅広く使用されています。

芒硝の性質: 無色または白色の結晶で、水に溶けやすく、エタノールにはほとんど溶けません。

地域美化活動

活動内容	活動実施月
工場周辺の清掃活動	随時

道路清掃車を使用して、工場周辺道路の清掃を実施しています。

・清掃の様子



・清掃車後方を車両が追走し安全確保



地域とのコミュニケーション活動

活動内容	活動実施月
地元小学校の古紙回収(土田小学校、今渡北小学校)	随時

当社のリサイクル活動に関心を持って頂くため、近隣の小学校で集められたチラシ等の古紙を回収し、大王製紙グループで古紙を配合して生産したコピー用紙と交換しています。令和2年度のチラシ回収量は、約460 kgとなりました。

・回収の様子



・回収した古紙



活動内容	活動実施月
地域とのコミュニケーション活動(その他)	随時
・回覧板による可児工場内での設備点検情報の開示	令和2年5月、9月、
・令和3年可児市成人式への協賛	令和3年1月
・令和3年可児市成人式への協賛	令和3年1月

中止した活動
<p>令和2年度に予定していました次の活動については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響により、中止しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動(工場周辺の清掃)への参加 ・松野湖クリーン作戦(松野湖の清掃)への参加 ・土田地区センターまつり秋フェスタ！34への参加 ・可児市環境フェスタへの出展 ・就職活動を視野に入れた近隣高校のインターシップ、企業実習、職場見学の実施 ・土田自治連合会工場視察受け入れ ・市内近隣小学校の工場見学受け入れ ・近隣の各種団体の工場見学の受け入れ